

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 国際課
 担当名: 国際戦略担当
 内線: 2713

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|---|----------------------|------|----|--|-----|-----|-------|----------------------|-----------|-------------|
| B12 | 「すべての子供と若者に国際交流を」事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 県民費 | 国際交流費 | 国際交流事業費 | | |
| 事業期間 | 令和 2年度～ | 根拠法令 | なし | | | | 宣言項目 | | SDGsゴール | |
| | | | | | | | 分野施策 | 061455 多文化共生と国際交流の推進 | SDGsターゲット | |
| 1 事業概要 すべての子供と若者に国際交流が実現できるよう以下の事業を実施する。 (1) オハイオ州知事等訪問団事業 △42,146千円 訪問団派遣の中止に伴う事務費の減額 | | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 子供や若者の国際交流の機会を増やすため、以下の事業を実施する。 ア オハイオ州知事等訪問団事業 0千円 (当初 42,146千円) イ 日本語教室子供ボランティア体験事業 422千円 (当初 422千円) ウ 外国人留学生出前講座事業 416千円 (当初 416千円) (2) 事業計画 ア 知事を団長とする訪問団をオハイオ州へ派遣し、新たな留学制度やスポーツ・文化交流の協定を締結する。 イ 日本語教室において、子供がボランティアで参加し、国際交流の機会を得る。 ウ 放課後子供教室等に外国人留学生が出前講座を実施し、国際交流の機会を増やす。 (3) 事業効果 ・新たな姉妹友好都市締結の契機となり、若者等の国際交流機会の増加へつながる。 ・新たな留学制度や交流事業の創設により、国際交流を実際に経験する若者等が増加する。 (4) 補正予算の概要 ・本年9月に予定していた訪問団受け入れは困難との見解がオハイオ州から示され、これを受け、同州姉妹提携30周年記念行事を中止することになり、合わせて先遣訪問団の派遣も中止することとなったため。 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円 | | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財源内訳 | | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △42,146 | | | | | | | △42,146 | 838 | |
| 現計額 | 42,984 | | | | | | | 42,984 | | |